

2021 年 10 月 20 日

出場団体各位

公益財団法人日本太鼓財団

第 23 回日本太鼓ジュニアコンクール演奏の審査講評について

このたび、第 23 回日本太鼓ジュニアコンクールの演奏に関する審査講評を、下記の通りまとめましたのでご通知いたします。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、当初予定していた 60 を超える団体による岡山県倉敷市での実施は困難と判断し、運営・技術合同委員会で審議の結果、全国を 7 ブロック(北海道、東北、関東、中日本、近畿、中四国、九州)に分類し、出場団体数を削減して実施することにいたしました。

大会が近づく中、感染拡大がさらに加速し、8 月に延期して何とか開催したいと思っておりましたが、新型コロナウイルスの終息の目途が立たず、緊急事態宣言の発令により残念ながら実開催を取り止め、動画による審査方式に変更いたしました。

出場団体の皆さまにおかれましては、新型コロナウイルスの影響によるものとは言え、大会の開催方法が大きく変更になり、大変な負担をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

動画審査は、台風 14 号の影響により開催が心配されましたが、審査委員 7 名、技術委員 7 名にご出席頂き 9 月 18 日に東京の笹川記念会館において実施いたしました。

7 ブロックから選抜された 24 団体に加え、新型コロナウイルスのため不参加を余儀なくされていたブラジルと台湾の代表団体を加えた 26 団体による、財団として初めての動画審査となりました。

この講評内容は、審査委員の評価に加え、技術委員が演奏技術と課題曲における正確さや表現力、また自由曲における創造性など、技術委員会で取りまとめたものです。各団体がこの講評を参考に、今後も益々精進されることを期待しております。

記

1. 総評

- (1) 第 23 回大会は、22 回大会が中止となったため 2019 年 3 月に実施しました第 21 回大会以来の開催となりました。新型コロナウイルスの影響を受け、満足な練習も叶わず、不本意な演奏となった団体もあったかと思いますが、画面を通じて頑張っている演奏は、甲乙つけ難いものでした。大会の成績に関わらず、全国大会に出場したことが優秀な証であり、各団体にとって大きな財産になることを確信しております。今後とも、結果だけにこだわらず、礼節を重んじ、他の団体の模範として活躍されますよう期待いたします。
- (2) 課題曲に関しては、練習機会に恵まれない環境下にもかかわらず、技術の向上が感じられたのは指導者の方を含む多くの方の支援によるものと思われまます。
ただ、課題曲の楽譜を理解されていないと感じる団体が多かったのは残念でした。
楽譜に指定されているクレッシェンドやアクセントなどを意識して演奏するようにして下さい。
自由曲では、4 分の時間の中で色々な表現をしようとする団体が多く見られましたが、何

を表現したいのか理解に苦しむような構成は逆効果になりますので、盛り込み過ぎないように気をつけて下さい。また、今大会では、笛が少なかったのが、近年では珍しい印象をうけました。しかし、依然、音がしっかり出ないにも係わらず笛を使用するチームがありましたので、逆効果となる使用にならないよう留意して下さい。

曲が途切れるような感じも気になりましたので、曲の構成に留意して下さい。また、全体に音量を含めてバランスにも気を付けて下さい。

- (3) 衣裳については、太鼓演奏の妨げになるような団体は少なくなったようです。今後も衣装で加点されることはありませんので、清潔でジュニアらしい衣装を心がけて下さい。また審査は、審査委員や観客の受けを意識した演奏より、太鼓に向かう真摯な態度を評価しますので、留意して下さい。
- (4) 今回は、選抜方式としたため、ブロックでそれぞれ検討され、出場団体が決定されました。今後も、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、その時点における最善の方法を模索し、対応してまいりたいと思いますので、各ブロックの強化にもご尽力いただきますようお願いいたします。
- (5) 当初、ブラジルと台湾は世界的な新型コロナウイルス蔓延により渡航が難しく、不参加を余儀なくされておりましたが、動画審査になったため、16回目となるブラジルと、10回目となる台湾が出場しました。いずれも、中止となった第22回大会の際に出場を予定していたチームで、ブラジルからは、第17回全ブラジルジュニア太鼓選手権大会において優勝した「クリチーバ若葉太鼓」です。課題曲に続いて自由曲「もちつき」を披露され倉敷市教育委員会教育長賞及び国際友好賞を受賞されました。日本の文化の中から餅つきをモチーフに見事に表現されていました。台湾からは、第10回台湾太鼓ジュニアコンクールで優勝した「葫蘆墩 smile 太鼓團」が出場されました。今大会では、課題曲に続いて自由曲「台中伝説」を演奏を披露して頂き国際友好賞を受賞されました。

2. 審査委員並びに技術委員について(敬称略)

(1) 審査委員

審査委員長	大澤 和彦 (財団理事長)
審査委員	岡田 知之 (公益社団法人日本吹奏楽指導者協会会長)
	喜 多 郎 (音楽家)
	高野 右吉 (財団副会長)
	長谷川 義 (財団副会長)
	秦 和夫 (一般社団法人日本マーチングバンド協会公認指導員)
	古屋 邦夫 (財団技術委員会委員長)
	石井 秀弦 (津軽三味線石井流家元・欠席)

(2) 技術委員

江口信一郎、川原 邦裕、西川恵美子、松枝 明美、
安江 信寿、山部 泰嗣、渡辺 洋一
鈴木 孝喜 (欠席)、長谷川 準 (欠席)

3. 演奏内容について

参考のため出場全団体の講評をお送りします。
別紙の講評コメントを参照して下さい。

4. 審査結果について

優 勝・内閣総理大臣賞

橘太鼓「響座」ジュニア(宮崎)

準優勝・総務大臣賞

三代目源流少年隊(大分)

第3位

院内童龍太鼓(大分)

文部科学大臣賞

院内童龍太鼓(大分)

第4位・岡山県知事賞

神洲八幡巫太鼓(福岡)

第5位・倉敷市長賞

輪島・和太鼓 虎之介(石川)

特別賞

岡山県教育委員会教育長賞

越中いさみ太鼓保存会 春蘭(富山)

倉敷市教育委員会教育長賞

クリチーバ若葉太鼓(ブラジル)

株式会社浅野太鼓楽器店賞

和太鼓集団 夢幻の会子ども太鼓(香川)

有限会社諏訪響太鼓店賞

信濃国松川響岳太鼓子供会(長野)

株式会社宮本卯之助商店賞

天城連峰太鼓(静岡)

株式会社丸五賞

岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)

国際友好賞

クリチーバ若葉太鼓(ブラジル)

国際友好賞

葫蘆墩 smile 太鼓團(台湾)